



栃木県立宇都宮商業高等学校

全
日
制



所在地 〒320-0014 宇都宮市大曾3丁目1番46号
 電話 028-622-0488
 F A X 028-627-7871
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/utsunomiyashogyo/nc2/>
 創立 明治35年(1902年)
 課程 全日制課程
 設置学科 商業科、情報処理科
 生徒数 836人(男子377名 女子459名)(令和3年5月1日現在)
 利用交通機関 J R宇都宮駅西口⑤番のりば、宇商高校前下車

目指せ あいさつ 日本一! 目指せ 資格取得 日本一!
目指せ 地域のビジネスリーダー!

I 学校の概要

1 学校教育目標

情操豊かでたくましさ創造力をもつ、ビジネスリーダーを育成する。

2 目指す学校像

- 全校挙げて資格取得に取り組み、専門的知識・技術を習得させる学校
- キャリア教育・進路指導の充実により、就職にも進学にも強い学校
- 活気ある特別活動により、自主的・自律的態度とあきらめない強い心を育てる学校
- 礼儀正しく、共生の心をもって進んで社会に貢献する力を育てる学校

3 募集する生徒像

本校の教育目標・目指す学校像を理解し、本校を強く志望する生徒で次の(1)から(5)までのいずれかに該当する生徒

- (1) 将来のキャリアプランと商業を学ぶ明確な目的意識を持つ生徒
- (2) 学習や部活動等に対し、意欲的に努力できる生徒
- (3) 商業や英語をはじめとする資格取得に強い意欲をもつ生徒
- (4) コンピュータに興味や関心があり情報処理能力の向上に強い意欲をもつ生徒
- (5) あらゆる場面においてリーダーシップを発揮できる生徒

4 沿革

- 明治35年 宇都宮市立宇都宮商業学校(市商)が誕生
- 明治43年 栃木県立宇都宮商業学校(県商)が誕生
- 昭和24年 市商が県商に統合
- 昭和26年 栃木県立宇都宮商業高等学校(宇商)に改称



市商



県商

II 学校、学科、コース、教育課程等の特色

1 学科、コース

(1) 商業科

a ビジネス総合コース

ビジネスに関する基本的な知識・技術を学び、進学や就職を目指す。

(a) キャリア系列

ビジネスに関する専門的知識とともに、ビジネス情報処理の知識・技術を身につけ、主に就職を目指す。

(b) アドバンス系列

ビジネスに関する専門的知識を身につけるとともに英語力を養い、主に進学を目指す。

b ビジネス進学コース

簿記や英語を深く学び、主に大学進学を目指す。将来の会計スペシャリストの基礎を身につける。

(a) アカウンティング系列

財務会計や管理会計を学習し、大学進学を目指す。

(b) イングリッシュ系列

高い英語力を身につけ、大学進学を目指す。

(2) 情報処理科

Javaによるプログラミング学習を通して情報処理の専門的な知識・技術を身につけ、主に大学進学を目指す。

2 検定試験

(1) 商業科情報処理科共通で全員受験する検定試験

- ・全商簿記1級・北関東簿記1級・日商簿記2級
- ・全商情報処理1級（ビジネス情報部門）
- ・全商珠算電卓1級（電卓）
- ・全商ビジネス文書（ワープロ）1級
- ・全商商業経済1級
- ・全商英語上位級・実用英語上位級・漢字上位級

(2) 商業科ビジネス進学コースで全員受験する検定試験

- ・日商簿記1級・全経簿記上級・全商会計実務

(3) 情報処理科で全員受験する検定試験

- ・全商情報処理1級（プログラミング部門）
- ・基本情報技術者試験（国家試験）

(4) その他の検定試験

- ・全商珠算電卓1級（珠算）・全珠連珠算上位級
- ・ITパスポート試験（国家試験）
- ・秘書・日商販売士

(5) 全国トップクラスの全商検定1級3種目以上合格数と取得率

卒業年度	3種目	4種目	5種目	6種目	7種目	8種目	9種目	合計	取得率
2年度	38	42	69	50	29	21	18	267	97.45%
元年度	41	76	63	42	19	11	6	258	93.48%
30年度	27	41	64	56	35	24	16	263	95.29%
29年度	32	44	87	55	31	12	11	272	98.19%
28年度	31	42	108	59	18	8	4	270	97.47%



※検定試験主催団体一覧

全商＝公益財団法人全国商業高等学校協会
日商＝日本商工会議所
全経＝公益社団法人全国経理教育協会
北関東簿記＝北関東簿記実務検定試験委員会
全珠連＝公益社団法人全国珠算教育連盟
実用英語＝公益財団法人日本英語検定協会
漢字＝公益財団法人日本漢字能力検定協会
秘書＝公益財団法人実務技能検定協会
国家試験＝経済産業省

3 7時間目課外の実施

月火木金曜日に「TO-PLAN」と称する40分7限課外を導入し、基礎学力向上（国数英）、検定対策（簿情英）、進路対策を行っている。「TO-PLAN」とは、Tomorrow（未来）とTogether（共に）のToを取って、生徒の未来の夢に向かって共に努力するという意味合いが込められている。

4 進学対策特別講座

国公立大や上位私大を希望する生徒を対象に、進学対策特別講座を実施している。

内容は、国語、英語、現代社会の実力養成、推薦入試対策（小論文、面接 他）を行う。

朝・放課後の学習室開放（自習）、夏季補習、冬季補習、センター試験対策等を実施している。

Ⅲ 進路状況（令和2年度）

(1) 卒業後の進路と主な合格大学

【国立大学】福島大1人

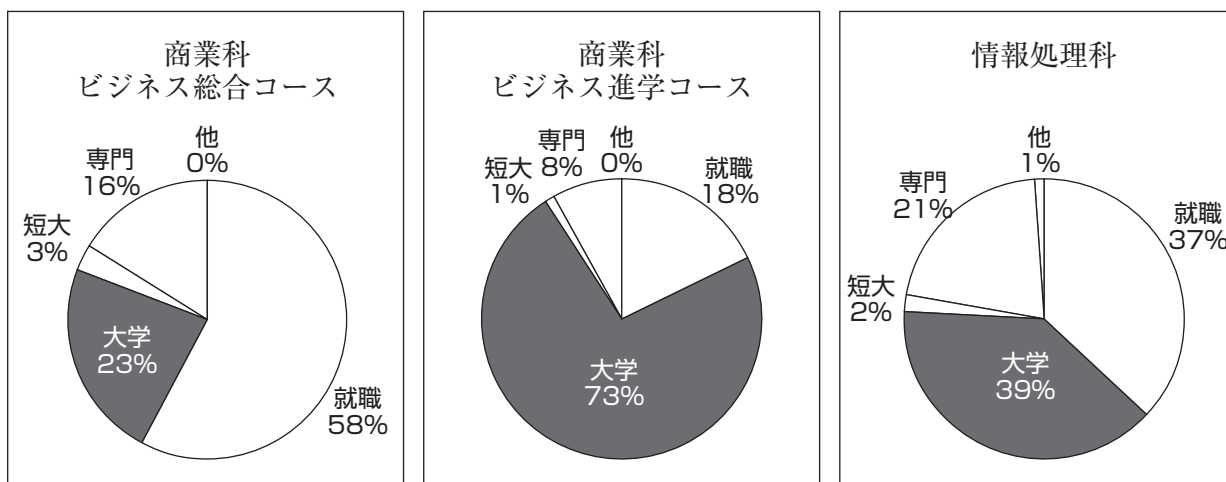
【私立大学】明治大5人／中央大4人／法政大2人／関西学院大1人／同志社大1人／立命館大4人／國學院大4人／日本大5人／東洋大1人／駒澤大6人／専修大13人／獨協大1人／東京経済大17人／千葉商科大9人／作新学院大3人／帝京大3人／白鷗大5人／国際医療福祉大3人

【短期大学】國學院栃木短大1人／上智短大1人／実践女子短大1人

【専門学校】宇都宮ビジネス電子専門3人／国際情報ビジネス専門4人／大原簿記情報ビジネス専門5人／栃木県立衛生福祉大2人／獨協医科大学附属看護専門1人／栃木医療センター附属看護3人

【就職】足利銀行8人／栃木銀行3人／烏山信金2人／栃木信金1人／とちぎんTT証券2人／宇都宮農協7人／塩野谷農協2人／ABCロジテム1人／キャノン1人／クボタ2人／小松製作所4人／SUBARU1人／住友電気工業5人／TKC7人／ナカニシ1人／日産自動車2人／久光製薬1人／ファナック1人／本田技研工業3人／海上自衛隊1人／栃木県警3人／日光市役所1人／石橋地区消防組合1人

(2) 科・コース別の進路構成（平成28年度から令和2年度までの5年間）



IV 特別活動等の紹介（学校行事、生徒会活動、部活動等）

(1) 部活動

・運動部

硬式野球、バスケットボール、バレーボール、硬式テニス、ソフトテニス、水泳、卓球、サッカー、陸上競技、バドミントン、剣道、レスリング、空手道

・文化部

科学研究、音楽、演劇、美術、書道、写真、文芸、漫画創作、華道、茶道、バトントワリング、吹奏楽、放送、英語、手芸・調理

・商業部

簿記、珠算、情報処理、ワープロ、ビジネス研究



硬式野球部は、平成24年度第85回選抜甲子園野球大会に34年ぶりに出場した。

レスリング部、空手道部、陸上競技部は、毎年のように関東大会や全国大会に出場している。その他、多くの部が自分たちの夢に向かって活躍している。部活動加入率は9割以上で、「TO-PLAN」後そろって部活動に専念し、勉学との両立を果たしている。

(2) 商業高校ならではの部活動の実績（令和元年度実績）

- ・簿記部 35年連続全国大会出場（団体出場33回、個人出場2回） 全国8位
- ・情報処理部 31年連続全国大会出場（団体出場29回、個人出場2回）
- ・ワープロ部 過去15年間で13回全国大会出場（団体出場5回、個人出場8回）
- ・珠算部 17年連続全国大会出場（団体出場15回、個人出場2回） 全国6位

・全国大会出場 簿記部、情報処理部、ワープロ部、珠算部、空手道部 計5部

・関東大会出場 レスリング部、空手道部、卓球部、バレーボール部、水泳部、バトントワリング部 計6部

(3) 主な行事



スポーツフェスティバル



スポーツフェスティバル



芸術鑑賞会



キャリア形成支援事業



インターンシップ



授業風景（簿記）



授業風景（情報処理）



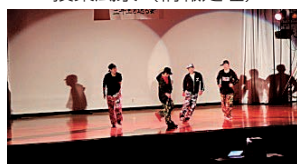
宇商祭



修学旅行（2年生）



課題研究発表会



3年生を送る会



遠足（1・3年生）

V 特色選抜について

1 定員の割合

商 業 科 30%程度

情報処理科 30%程度

2 出願するための資格要件

人物に優れ、基本的な生活習慣と本校での学習に対応できる基礎学力が身に付いており、次の（1）又は（2）のいずれかに該当する者

（1）本校の商業科または情報処理科に対する興味・関心、適性を有し、学科を志望する動機、理由が明白で適切である者

（2）部活動、ボランティア活動などの特別活動や資格取得において優れた実績を有する者

3 選抜方法

選抜の方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
作 文	時間45分 字数400～500字

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計する。（135点満点）
また、調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものを評価し、「特別活動の記録」「行動の記録」「総合的な学習の時間の記録」は、段階評価を行う。
- 3 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

本校での資格要件を満たす者で、【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数の順位が特色選抜の募集定員の80%以内（ただし、定員に満たない場合は受検者の80%以内）にあり、面接・作文の評価が良好である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、特に資格要件に該当する事項を重視し、【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数、面接・作文の評価を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。